

あなたの家は、 家族を守れますか？

「家族のための耐震改修」



鳥居治夫さん(中央)、妻のサエ子さん(左)と娘のユリさん(右)

南海トラフ巨大地震が発生した場合、市内では建物倒壊による死者が約600人にのぼると試算されています。地震に対する建物の備えは充分ですか？
市内住宅のうち約17%が耐震化されていません。対策として市では、無料の耐震診断や耐震改修への補助を実施しています。
市の補助を利用し耐震改修工事をした、箕輪町の鳥居治夫さんのお宅に伺いました。

耐震改修を決定した理由は？

床がミシミシ鳴り、以前から大きな地震が心配でした。



鳥居さん

大きな環境の変化は、高齢の両親には厳しいと考え、新築ではなく改修を検討しました。

業者さんから弱い箇所を指摘してもらい、どんな工事が必要か説明を受け、納得できたので、安心してお任せしました。

耐震改修を終えての感想は？

耐震改修のおかげで、安心して暮らせるようになりました。

具体的には、床の張り替えや壁を補強(下写真参照)しました。

また、高齢の両親のために段差をなくすなど耐震工事と同時にリフォームしたことで、暮らしの不満も解消されました。

メモ バリアフリーの補助も併用可能なので、建築課にご相談ください。介護担当などと連携し、対応します。

耐震改修をこれからする人へのアドバイス。

古い住宅は、我が家のように高齢者が住んでいる場合が多いと思います。

高齢者が過ごす部屋は限られているので、居間や寝室など一部の改修でもいいかもしれませんね。

メモ

昭和56年5月31日以前着工の住宅は、古い耐震基準が適用されているので、耐震診断をおすすめします。



建築課査 岡田和也

耐震改修ビフォーアフター

改修前



改修後



筋交い(斜めの木)で補強しています。場所によって対策方法が異なります。

補助金の申請方法

まず無料耐震診断を実施し、結果に基づいて各種補助があります。木造住宅の耐震改修の場合、最大120万円補助しています。対象などの詳細は、本紙4月1日号27ページをご覧ください。※耐震改修工費は平均250万円程度です。

耐震講演会

「すまいの耐震化のススメ」
「震災からあなたの命を守るために」

東日本大震災の被害から住宅の耐震などを研究している教授のお話です

●とき 10月12日(日)午前10時～11時

●ところ 錦町小学校

●講師 森保宏氏(名古屋大学)

●授 古屋大学



森氏

●その他 駐車場はありませんので、公共交通機関などでお越しください。

問 建築課

(☎71)2241